

まちの話題

移動知事室が小郡へ

11月5日(木)、麻生渡知事が小郡市を訪問し、市民の皆さんと触れあい、意見交換などを行いました。今回訪問したのは、総合保健福祉センター「あすてらす」での高齢者の健康づくり支援事業や、力武の大豆畑で営農生産組合の取り組みの視察、立石小でくろつちアンビシャス広場の関係者との懇談、東野校区公民館で地域で活躍されている団体の皆さんとの対話が行われました。今回の様子は12月6日(日)午前8時55分～9時TNCテレビ「フレッシュ！ふくおか県」で放送されます。



▲立石小で子どもたちとふれあう麻生渡知事(左)

全国吟詠コンクール大会優勝

松行清子さん(新町、写真右)が、9月21日に東京で行われた全国吟詠コンクール大会の70歳以上の部(第3部)で、優勝しました。

松行さんはぜん息の持病があり、緊張すると症状が出てしまうという状況での優勝に、「優勝を聞いた時は本当に信じられませんでした。全国大会の舞台に立てるだけで幸せと思っていました。舞台に出た時は、言葉を鮮明に発音するよう心がけました。優勝は長年続けてきたご褒美と感謝しています。」と話され、平安正知市長は「これから末永くご活躍してください。」と話しました。

松行さんは、その後日本武道館で行われた全国吟剣詩舞道大会に出場されました。

松行さんは市内で行われている詩吟教室で指導を行っています。興味をお持ちの方は、小郡市文化協会(市文化会館内 ☎ 72 - 3737)までお問い合わせください。



宝満川美化「ノーポイ」運動お疲れ様でした

10月25日(日)に実施した宝満川美化「ノーポイ」運動では、多くの宝満川流域住民の方や、関係団体の皆さんにご参加いただき、堤防や河川敷の清掃作業を行うことができました。厚くお礼申し上げます。

回収したゴミの量は、「燃えるゴミ」830kg、「不燃物ゴミ」460kg、「空ビン」80kg、「粗大ゴミ」940kg でした。中には、まとめて捨てられた不法投棄によるゴミも多く含まれていました。

小郡市では、今後も河川愛護に力を入れ、ポイ捨ての無い、きれいで親しみやすい宝満川を目指して一層努力していきます。



▲陸上競技場駐車場に集められたゴミ



花立山～秋の収穫祭～

11月3日、花立山の麓の城山公園で「花立山～秋の収穫祭～」が行われました。

前日の雨で開催が心配されましたが、青空が広がりの多くの方が訪れました。

露店では、採れたての野菜、花、焼き芋、つきたてのおもちなどの加工食品が販売されたほか、茶席も開かれました。また、芋の収穫や木工教室が開かれ、家族で一緒に行くきずなを深める場となりました。

ほかほかした陽気の中、多くの家族連れがお弁当を食べたり、焼き芋などの秋の味覚を楽しんでいました。

子どもたちのための図書寄贈



▲清武輝教育長へ図書を送る中村センター長(左)

11月16日、ダウ・ケミカル日本株式会社(本社・東京)小郡開発センター(中村元太センター長)から、子どもたちのために、市立図書館へ50万円相当の科学教育関係の図書が寄贈されました。今後、この図書は、小・中学校の巡回図書として、各学校の子ども達に読まれます。

各種化学製品製造・輸入販売や関連研究開発を行っているダウ・ケミカル日本株式会社は、事業所を置いている市町村の教育発展のために寄付をされて、小郡市に対して、平成12年から寄付を続け、今年で10年目を迎えます。これまでの寄付は総額300万円を超え、市の教育・文化発展に大きく貢献しています。

中村センター長は、「資源の乏しい日本において、科学・技術の発展は重要となります。この図書を通して、子どもたちに少しでも科学に興味をもってほしい。」と話されました。

AFC U-16 女子選手権大会出場

猶本光さん(希みが丘)がU-16日本女子サッカー代表として、11月5日からタイで行われたAFC U-16女子サッカーアジア大会に出場しました。

猶本さんは、15日に行われたオーストラリアとの3位決定戦で、貴重な追加点をあげるなど勝利に貢献しました。

日本代表に選ばれた時は、「目標だったので選ばれた時にはびっくりしたけれど、嬉しかった。大会に向けて頑張ろうと思いました。」と話し、ゴールを決めた時のことを、「ゴールを決めた時のことはあまり覚えていないけれども、緊迫した試合で2点目を入れることができ嬉しかった。」と振り返りました。

お兄さんがサッカーをしていた影響で小学校1年生からサッカーを始めた猶本さんは、これからのことについて、「将来はなでしこジャパンに入りたい。そして、見る人が楽しめるようなプレーをしたい。」と話されました。



▲平安市長と握手する猶本さん(右)

学校給食料理コンクール優秀賞受賞



▲鳥越さんと受賞した料理

学校給食課の鳥越健史さんが、10月22日に筑紫野市で行われた学校給食料理コンクールの課題部門で優秀賞(県教育委員会賞)を受賞しました。

コンクールでは、県内各地から集まった35人が学校給食にふさわしいメニューと技術を競いました。

鳥越さんは、受賞した料理について、「子ども達に不足しがちな食品を楽しくおいしく食べてもらおうと考えました。これからも、地元の食べ物を使った生産者の顔が見える安心・安全な給食を作っていきたい。」と話されました。また、自校方式の学校給食に触れ、「一度にまとめて作るセンターと違い、出来たての給食が食べることができて、アレルギーに対応しやすいところがいいところです。より安心・安全な給食を食べてもらうことができるのでは。」と話されました。

おごおりの食材いただきました

11月8日、総合保健福祉センター「あすてらす」駐車場で「おごおり物産展」が開催されました。

地元で採れた野菜や果物、鴨ごはんや呼子の海産物が並び、多くの方が買い物を楽しんでいました。

今年は、小郡産の食材を使った炊き込みご飯の販売が行われ、完売するなど盛況でした。炊き込みご飯は、市観光協会会員により考案・創作されたご飯です。炊き込みご飯の詳細は、小郡観光協会ホームページに掲載しています。



▲炊き込みご飯の販売風景